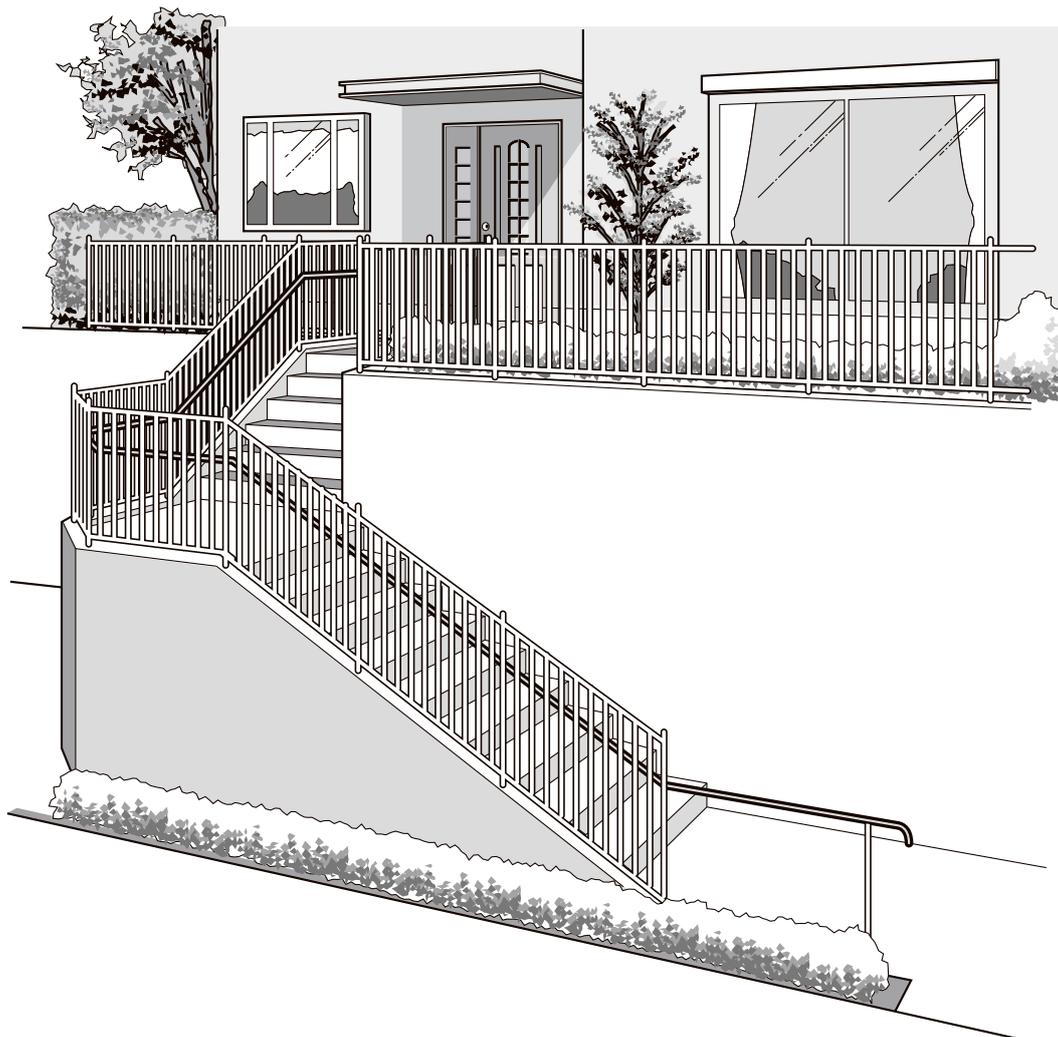


## ガードウォーカー(転落防止柵)

### 取付け説明書



# 目次

■ 設計・施工される方へのお願い	1
① 施工時の重要確認事項	3
② 基本寸法と各部の名称	5
③ パネルAの幅切詰め	7
④ パネルAの取付け	8
⑤ 柱ブラケット取付け穴加工	10
⑥ 水抜き穴加工	10
⑦ ラベルの張付け	裏表紙

## 設計・施工される方へのお願い

### ■ 設計・施工される方へのお願い

- 本製品にガードウォーカー歩行補助手すりを取付ける場合は、ガードウォーカー歩行補助手すり取付説明書を参照してください。
- 本説明書で使われるマークには以下のような意味があります。

**▲ 警告** …取扱いを誤った場合に、使用者が死亡又は重傷を負う危険が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

**▲ 注意** …取扱いを誤った場合に、使用者が中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

### ▲ 警告

本製品を設計・加工・組立て・施工するときは、下記事項を厳守してください。  
手すりの落下・人の転落および手すりが倒れる不具合の発生するおそれがあります。

#### ● 設置条件

- ・ 本製品は、住宅および集合住宅の玄関アプローチなどの、屋外の通路や階段への設置を目的にした転落防止柵です。  
建物の廊下用やバルコニー用の手すりとしては使用しないでください。
- ・ おおぜいの人が集まるおそれのある場所には設置しないでください。

#### ● 施工完了時の確認

- ・ 組立て・施工後は、格子・笠木などをゆすってガタツキのないことを確認してください。ガタツキがあると落下などのおそれがあるため、ある場合には手直しをしてください。

## ▲ 注意

製品破壊による人への被害・物的損害が想定されますので、下記事項をお守りください。

### ● 柱・束の埋込みについて

- ・海砂および急結剤・凍結防止剤は使用しないでください。
- ・柱の付け根に水抜き穴 (φ5) をあけてください。

### ● 施工について

- ・施工は専門業者が行ってください。
- ・必ず指定の組立て部品・ねじをお使いください。
- ・タッピンねじの下穴には指定より太いドリルを使わないでください。
- ・ねじの締付けに電気ドライバーを使う時は、30kgf・cm以下のトルクで行ってください。
- ・製品の改造は絶対にしないでください。
- ・柱埋込み時には水抜き穴をふさがないように注意して施工してください。  
腐食やたまった水の凍結で、柱が破損するおそれがあります。
- ・パネルAや柱の切断・穴あけ加工を行う場合、金属用の工具を使用してください。

## ■ お願い

- 端部の柱の見やすい場所に「注意ラベル」を張ってください。
- お施主様には「取付説明書」を必ずお渡しください。
- 正しく施工、組付けをするために、施工前に必ず取付説明書をお読みください。
- 製品の施工については、必ず取付説明書にしたがってください。

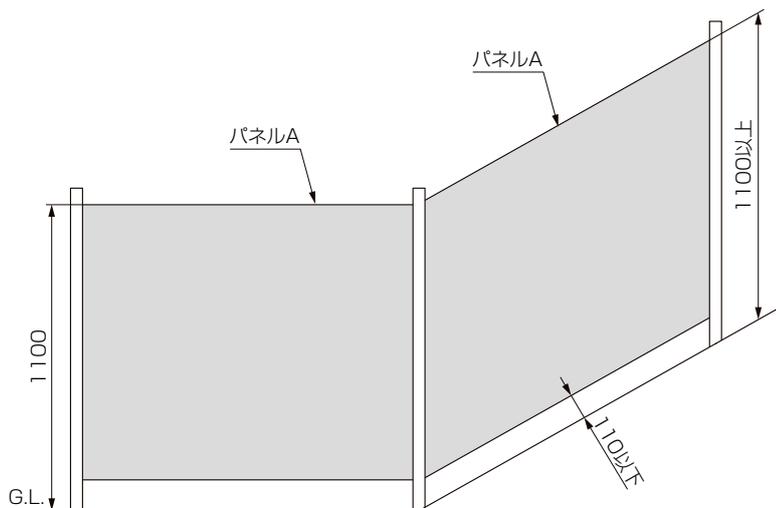
## ■ 保証について

通常の手配によって生じた不具合については、原則として当社の責任において交換・補修しますが、下記の場合は責任を負いかねますので十分ご注意ください。

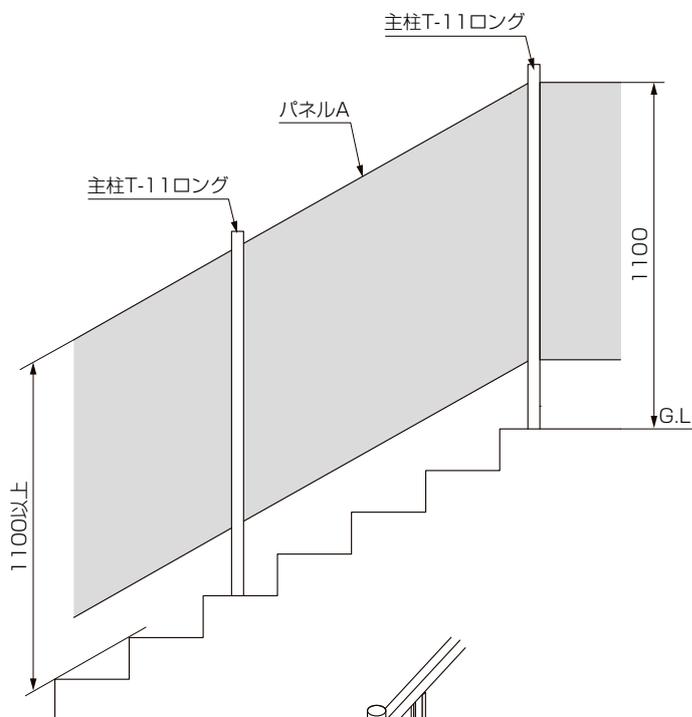
- 環境が特に悪い地域に取付けられたもの。
- 当社の表示した取扱いから脱逸したもの。
- 使用者もしくは第三者の誤り、または不当な修理・改造によるもの。
- 当社が表示した以上の性能を必要とする個所に取付けられたために発生したもの。
- 不可抗力 (天災・地変・地盤沈下・火災・爆発・騒乱・落雷・異常電圧など) により発生したもの。
- 手すり構成材であっても当社供給範囲以外のもの。(ガラス・アクリルなど)
- 一般住宅用とは認められない使用目的に使用されたもの。

製品の保証期間は、当該商品の取付け完了後2年間とします。

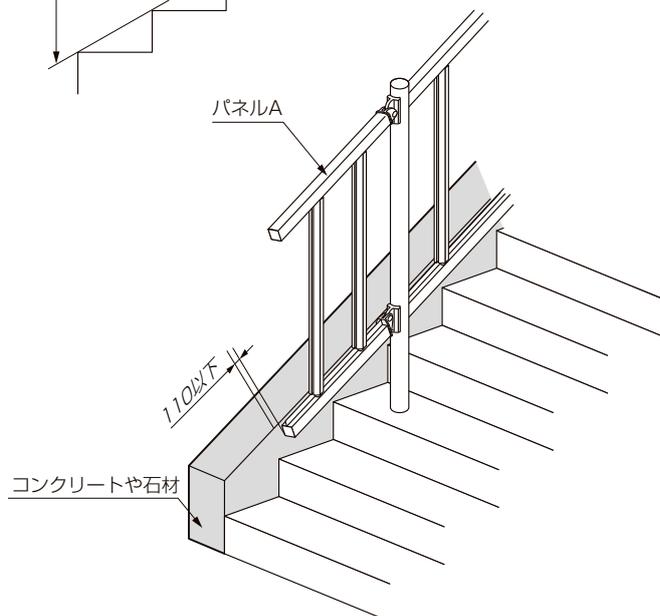
# 1. 施工時の重要確認事項



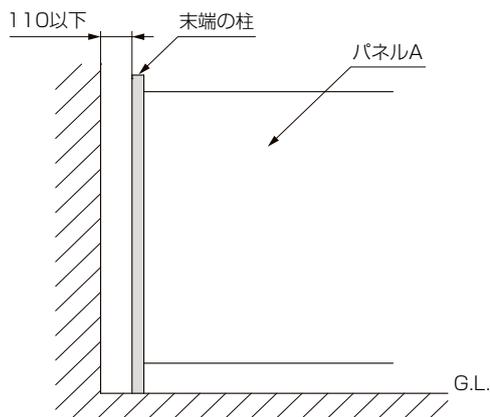
- ※水平施工の場合、パネルA上面までの高さを1100mmにしてください。
- ※スロープ施工の場合、パネルA上面までの高さを1100mm以上にしてください。
- ※スロープ施工の場合、パネルAと斜面とのすき間は、110mm以下にしてください。



- ※階段施工の場合、段の角から測ったパネルA上面の高さを、1100mm以上にしてください。
- ※階段施工の場合、必ず主柱T-11ロングまたは端部・角柱T-11ロングを使用してください。



- ※階段施工の場合、パネルAと階段とのすき間は、子供がくぐり抜けたりできないように、コンクリートや石材などでふさいで、最大すき間110mm以下にしてください。



※転落防止柵の末端が建物などに接する場合、末端の柱と建物などとのすき間は、110mm以下になるようにしてください。

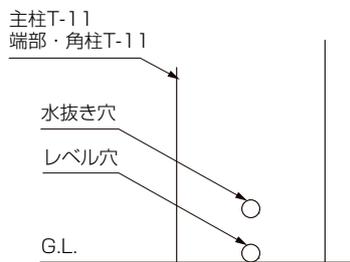


図1-1 水平施工

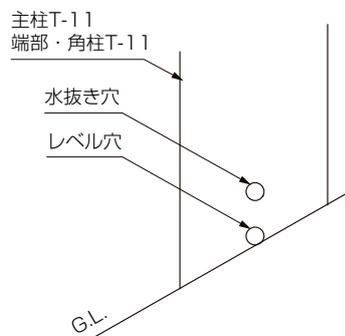
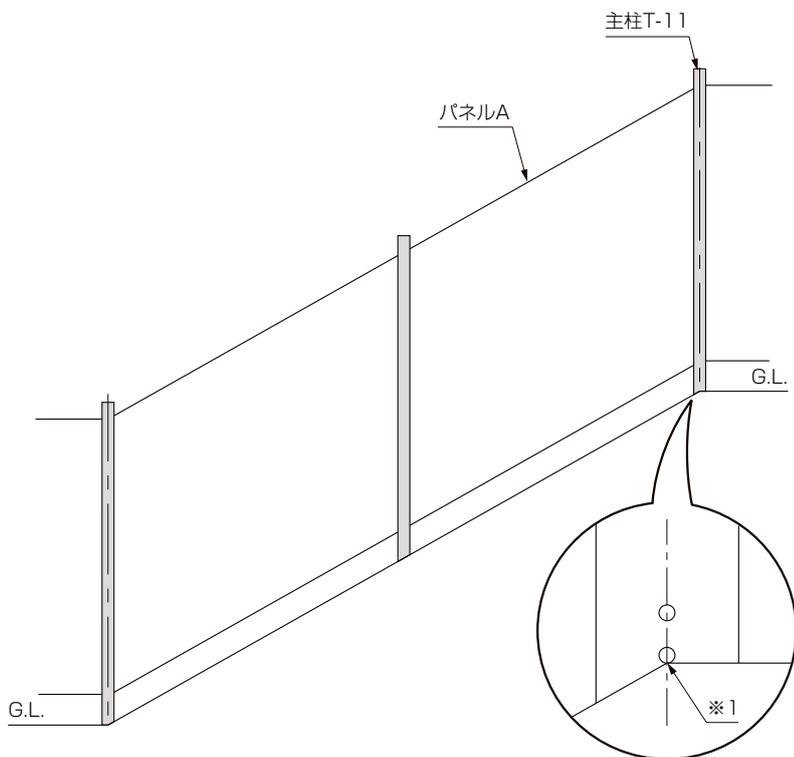


図1-2 スロープ施工

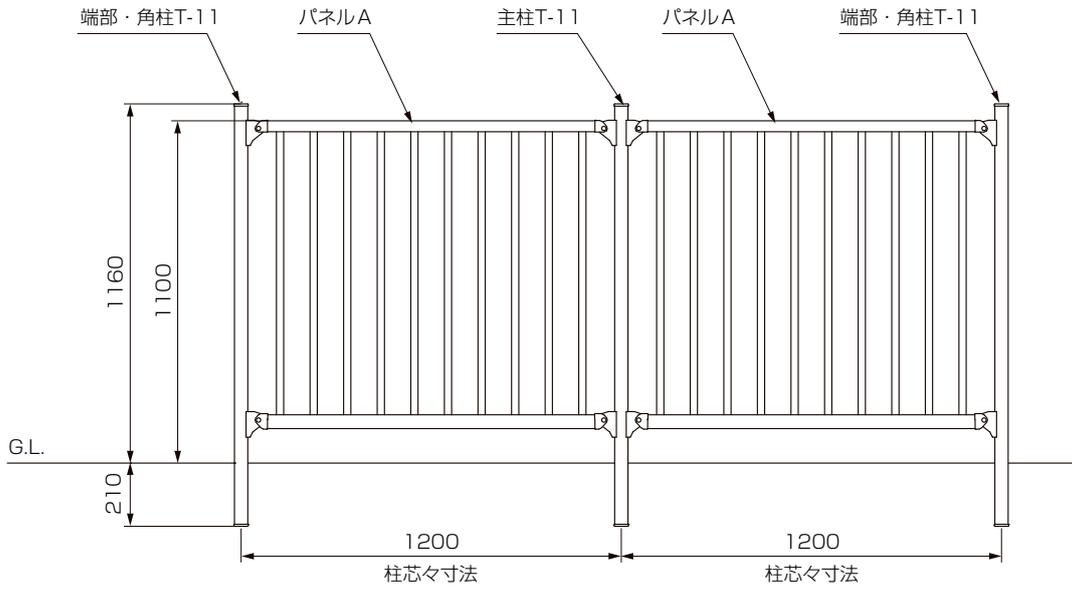
※レベル穴の下部が、G.L.の位置に合うようにしてください。



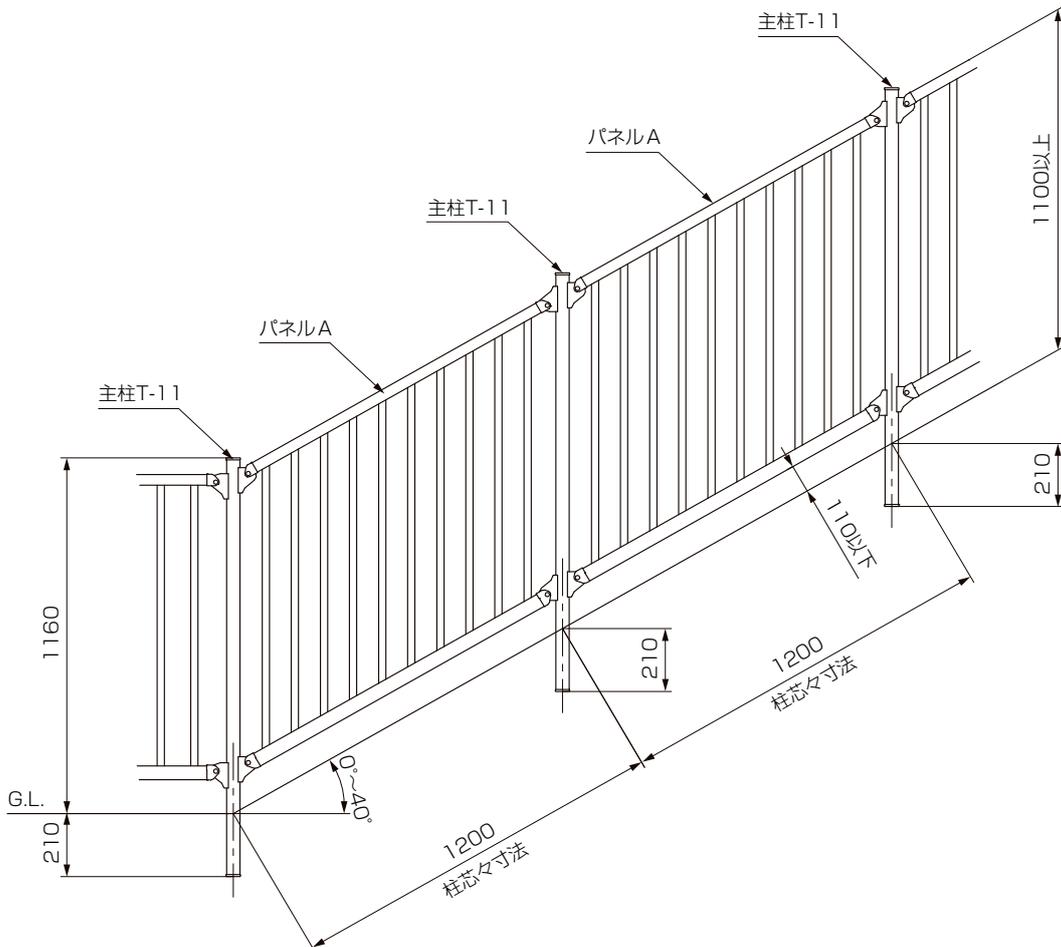
※地面や床面の傾斜角度が変わる場所には必ず各柱を設けてください。(※1)

# 2. 基本寸法と各部の名称

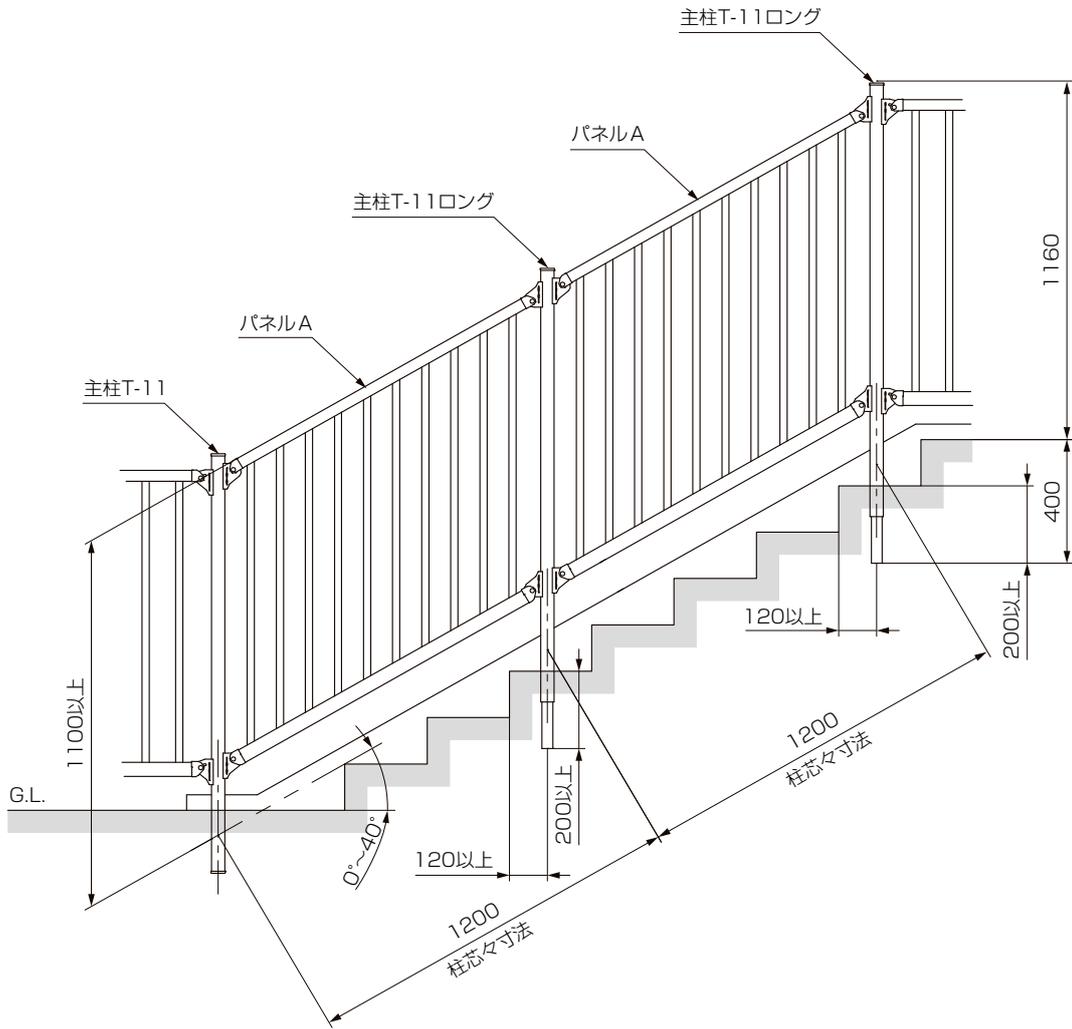
## 2-1 水平施工する場合



## 2-2 スロープ施工する場合



2-3 階段の踏面に施工する場合



# 3. パネルAの幅切詰め

## 3-1 上棧ブラケットと下棧ブラケットの取外し

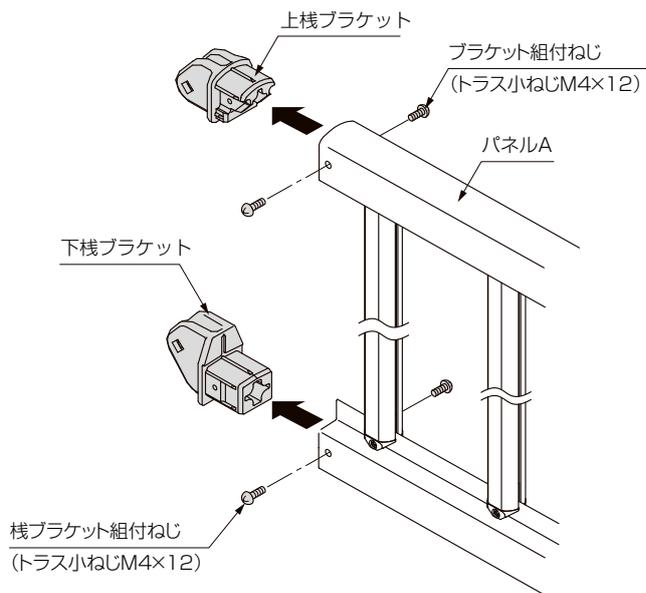


図3-1

●パネルAの上棧ブラケットと下棧ブラケットを外してください。

## 3-2 上棧・下棧の切断

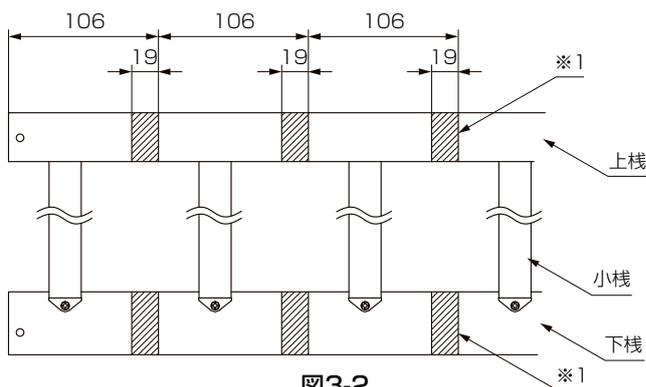


図3-2

●パネルAは切詰め寸法に制限があります。図3-2の斜線部(※1)の範囲内で、上棧・下棧を切断してください。

※柱芯々寸法は、上棧や下棧の長さ、166mmを加えた値になります。

## 3-3 上棧・下棧の穴加工

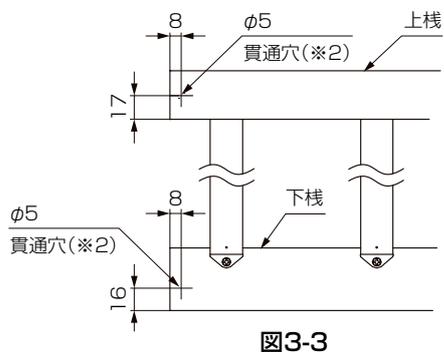


図3-3

●図3-3にしたがって上棧と下棧に、φ5の貫通穴(※2)をあけてください。

## 3-4 上棧ブラケットと下棧ブラケットの組付け

●上棧ブラケットと下棧ブラケットを元のように取付けてください。

# 4. パネルAの取付け

## 4-1 水平部の取付け

※図は主柱T-11の場合の取付を示します。  
その他の柱も同様に取付けてください。

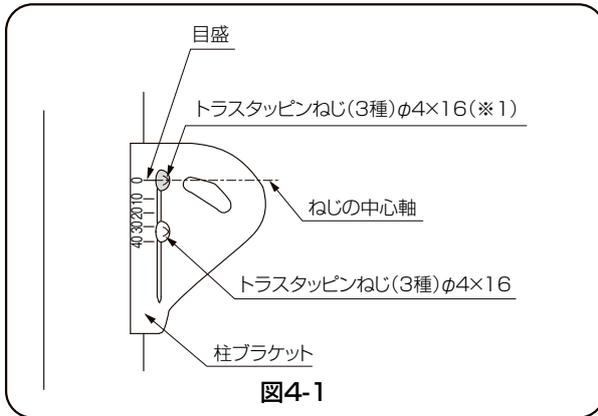


図4-1

- ①図4-1のようにして、柱ブラケットを各柱に、仮止めしてください。
- ②上側のねじ(※1)と目盛0を合わせて、柱ブラケットを固定してください。

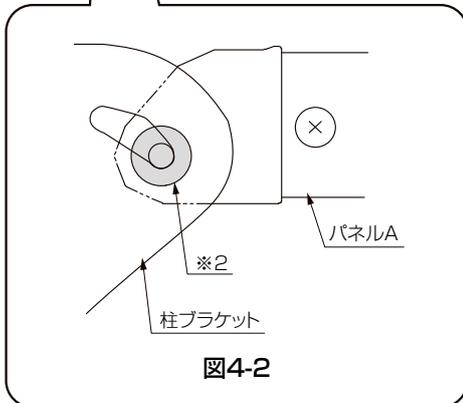
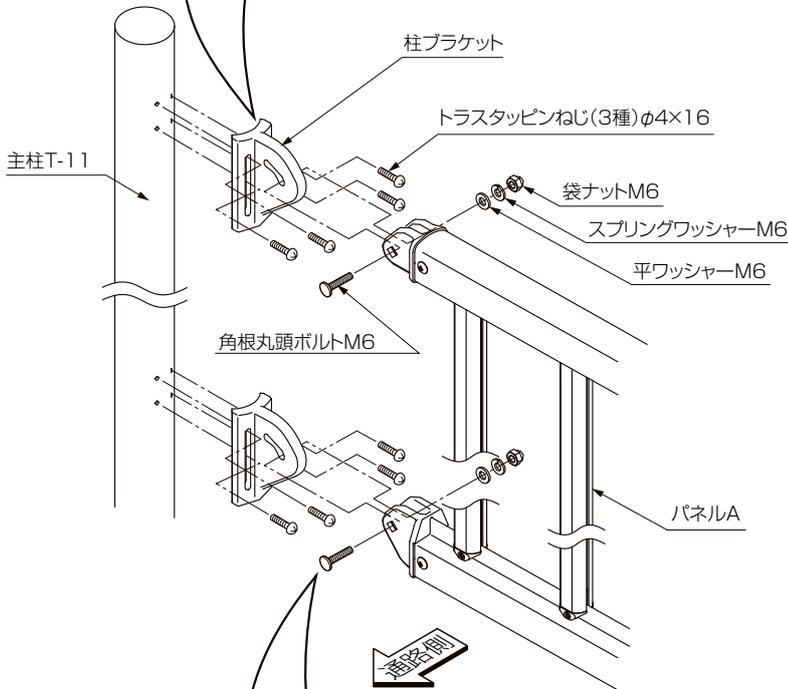


図4-2

- ③パネルAをボルトで柱ブラケットの円弧状長穴の先端部に固定してください。(※2)

※ボルトを通路側から差込んで取付けると、ねじの出も少なく、きれいに仕上がります。



# 5. 柱ブラケット取付穴の加工

※コーナー部の柱の場合の作業です。

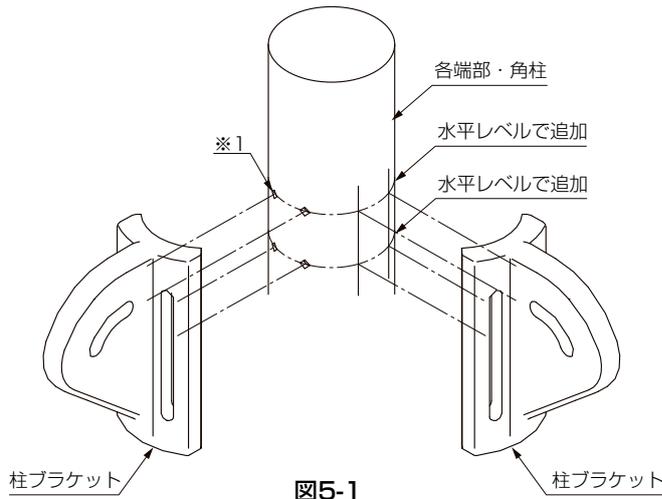


図5-1

- すでにあいている穴（※1）と水平レベルを合わせて、 $\phi 3.6$ を4ヶ所にあけてください。（図5-1参照）  
コーナー角度は $90^\circ \sim 270^\circ$ の範囲で任意に決定してください。（図5-2参照）

- ※各T-11ロングにはスチールパイプが入っています。穴加工は、慎重に行なってください。無理な力をかけるとドリルの刃を折ったり、製品にキズを付けるおそれがあります。
- ※柱ブラケットを利用すると、位置決めが容易になります。

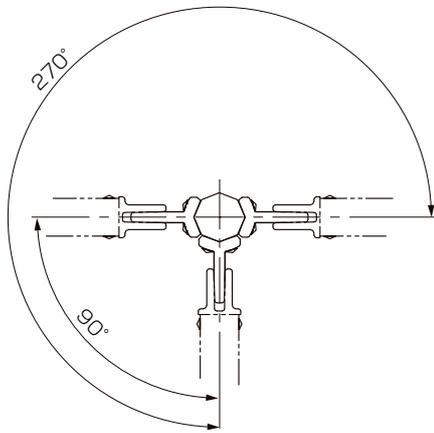
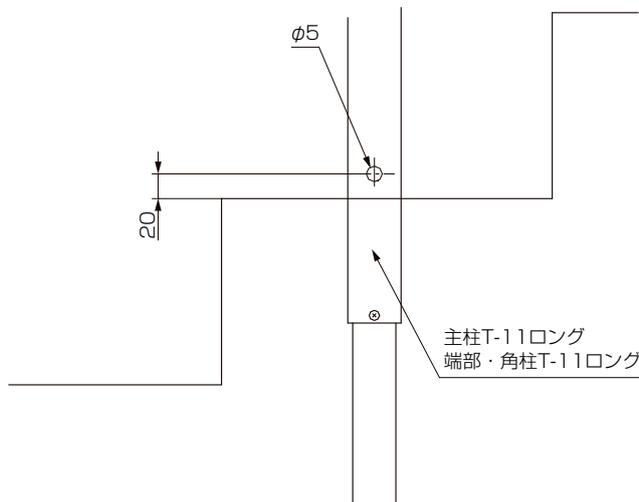


図5-2

# 6. 水抜き穴の加工

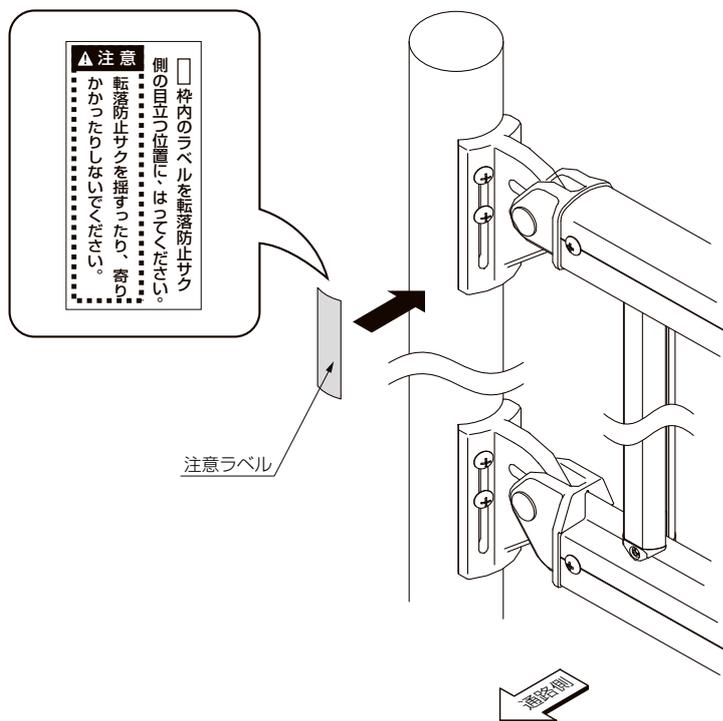
※各T-11ロングの場合の作業です。



- 各T-11ロングに、埋込面から20mmの高さで、 $\phi 5$ をあけてください。
- ※各T-11ロングにはスチールパイプが入っています。穴加工は、慎重に行なってください。無理な力をかけるとドリルの刃を折ったり、製品にキズを付けるおそれがあります。

# 7. ラベルの張付け

## 7-1 注意ラベルの張付け



- 必ず注意ラベルを端部・角柱T-11または端部・角柱T-11ロングの目立つ位置に張ってください。

## 株式会社 LIXIL

会社や商品についての情報のご確認は、LIXIL公式サイトまで

<http://www.lixil.co.jp/>

※ショールームの所在地、カタログの閲覧・請求、図面・CADデータなどの各種情報は、上記公式サイトからご確認ください。

●商品改良のため、予告なしに仕様の変更を行うことがありますのでご了承ください。

